

事業所における自己評価結果(公表)

実施年月:令和 5年2月

公表:令和5年 3月

事業所名 児童発達支援BAMBOOHATAND KIDS深谷上野台教室

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	指定基準以上のスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切である	7	0	人員基準以上の職員を配置しています。特別な支援が必要なお子さんにはマンツーマン対応をしています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	0	スロープ、玄関やトイレには手すりがあり配慮されています。また、段差の無い室内となっています。マークやイラストや写真などにより、荷物置き場、下駄箱、机など本人が見てわかるように掲示しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7	0	毎日の全室の清掃、おもちゃや支援グッズも定期的に消毒をしています。コロナ感染予防のため随時換気や除菌も実施しています。フロアマットも定期的に新しいものに取り替えています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	0	支援の前に支援内容についてミーティングを行い、前日の振り返りを行ったり、内容をノートに記入し振り返りが行えるようにしています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	評価表を活用し、保護者のご意見を参考に、改善に努めています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	保護者への配布、当社ホームページでの公表を行います。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7	0	第三者による評価を行い、業務改善に努めております。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0	月1回の社内研修や外部で開催されている研修にも積極的に参加しています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	0	6ヶ月に1回以上、定期的なアセスメントを行い、保護者のニーズを踏まえて支援計画を作成しています。また全スタッフが把握できるようにミーティングノートへ記入しています。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	0	事業所共通のアセスメントシートを用いて情報をまとめ、全員が把握できるようにしています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	0	子ども達の特性や、能力に応じて計画を立て、支援内容については具体的な方法を設定し、計画に基づいて支援をしています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0	行われています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	週替わりでリーダーを決め、活動内容について意見を出し合いながら立案しています。コロナも落ちついてきたので料理レクや他事業所との交流を増やしていきます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	事前に計画を立て、ミーティングを行い、確認する事で固定化しないように考えています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7	0	子どもの状況に応じて個別・集団活動を組み合わせで作成しています。個別支援として作業療法士が立案した計画も作成しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	管理者が中心になり開始前には必ずミーティングの時間を設けています。支援目標の確認や役割分担、活動内容、注意事項等を確認しています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	2	支援終了後、支援の記録および課題について話し合いを行います。参加できなかった職員にも周知できるよう内容はノートにまとめ、翌日のミーティングで共有して次回の支援に活かしています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0	記録は原則当日中に、具体的に記入するルールになっています。課題については話し合い、対応を検討します。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0	半年に1度は必ずモニタリングの実施と計画の見直しをしています。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	管理者及び児童発達支援管理責任者が参画しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	0	定期的なモニタリング会議を行ったり、関係機関と連携した支援を行っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	7	0	医療的ケアが必要な子どもを受け入れた経緯がありません。必要な場合は連絡体制を整える準備はあります。また、隣接している医療機関と連携をとることもできます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	7	0	医療的ケアが必要な子どもを受け入れた経緯がありません。必要な場合は連絡体制を整える準備はあります。また、隣接している医療機関と連携をとることもできます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	0	今までに移行支援を行ったことがありませんが、今後、移行支援を行う場合には、支援内容などの情報共有を図っていきたく思います。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7	0	管理者及び児童発達支援管理責任者が中心となり、情報共有を図っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	0	今年度、研修に参加させていただきました。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	7	コロナ禍の為、現在は交流する機会はありません。コロナが落ち着きましたら後は交流できる機会があればと思っています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	3	管理者及び児童発達支援管理責任者が参加しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	送迎時、対面して報告や情報交換、または連絡帳を通して伝え合っています。必要に応じて面談やお電話でお話させて頂く機会も設けております。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	7	0	ご家族からのアセスメントを基に、ご家庭での支援についてご提案、ご報告を頂いていますが、全員にはできていないので、今後の課題とします。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	ご契約の際にご説明しています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0	児童発達支援計画の支援内容の説明及び同意を得ています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	モニタリングの時期以外にも、保護者から日々の連絡帳でのやり取りや送迎時、対面での報告でご相談があった場合には、相談の機会を用意し、できる限りの助言や支援を行っています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	6	今年度はコロナ感染予防のため開催はしませんでした。コロナが落ち着きましたら、後は開催ができるようにしたいと考えております。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	ご相談を頂いた際には、上司に報告し、事業所としてどのように対応するかを検討し速やかに対応しています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	0	一斉メール配信等で連絡体制を整え、ホームページやブログ等を通して活動報告を掲載しています。また、月1回ニュースレターやお子さんひとり一人の個別記録を作成し、支援の内容を発信しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0	十分に注意して対応しています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	子どもとは絵カードを使って意思の疎通を図れるよう努力しています。保護者とは送迎の際や、連絡帳等必要に応じて電話などで行き違いのないよう配慮しています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	2	今年度はコロナ感染防止のため実施しませんでした。今後は地域の方と交流する機会を作れたらと考えております。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	0	策定し、職員がすぐに確認できる場所に設置しています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	定期的に避難訓練および防災訓練を実施しています。また、災害時に備え、備蓄品も準備してあります。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7	0	ご契約時に保護者に確認しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	1	保護者からの情報をもとに対応しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0	記録を残し、グループチャットでも共有しています。また、ミーティングの中で事例を話し合い共有しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	虐待を防止するための研修には積極的に参加しています。また社内研修を行っています。事業所内にはモニターカメラを設置し、防止に努めています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	0	必要性がないと感じていたため、特別に取り組んでいませんでした。そのような可能性がある場合に備え、準備していきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。